

磐城時報

日八十月八年九和昭
印刷所 加納印刷所
發行所 磐城時報社
一部金(代)一ヶ月金(代)五十五銭
廣告料(日)一ヶ月金(代)五十銭

危機を孕んで

決戦刻々近づく

農銀重役改選

全縣下舉げて一大擾亂の巻と化態に陥つたが、決戦間近に迫つた農工銀行重役改選も急々数に去十一既報の如き敢然出馬表時間後に迫つた明十五日午前十時の聲明書を發表好策を弄して時から執行されるが、演進りか自派を有利に導かんとした一派から出馬した三候補の中双葉幾世に致命的傷手を加はへて以來漸橋の馬場房時氏は既に蒐集し得た次形勢を盛り返して、今や當選たる一萬の委任状を擁し加ふる確實の有力候補者として數へらに縣下民政系一致の強力な支持に至つたが、前重役と貴族院を受けて白石、八田兩氏と共に議員の金成通氏此れまた中通り最有力の候補に數へられ、残る會津方面に散る委任状のかき集諸橋久太郎(平町)金成通(錦村)めに奔走飽まで當選を期して猛の兩氏の中諸橋氏は一萬三千を運動を續けてゐるので木村前代越す委任状と縣下財界有力筋の議士以下郡内有力筋の必死の委強方な支持を受けて断然たる強協奔走も効なく全く絶望視され味を示してゐるが、その後一部に至り郡内政友系の一大分裂の患辣極まる委任状取消運動の危機を孕んで刻々決戦への一と起すなほの懸念傳に可成の路を辿りつゝある。

諸橋氏の當選は

殆んど確定的と見らる

悪辣な策動暴露で好轉

(別項)諸橋氏勝か金成氏重任す中心となつてゐるが、諸橋氏にるか一は全縣下財界 致の強力對する一部の懸念傳全く一掃さな支持を擁し、一は政界三十年、殊に委任状取消運動と言ふ馳驅百戰練磨底知らずの智謀を悪辣な策謀暴露されて以來諸橋有してその決戦は全縣下興味の氏の形勢著しく好轉その當選は

醫學集談會

第六回例會

平町共濟病院醫學集談會は今日八日午後七時半から同院醫局に於いて第六回例會開催、當日の研究發表は

△ナルコボンヌコボラミン慢性中毒患者の一治験例に就いて平賀忠 氏△丹毒に關するカンチアス療法に就いて坂本眞一郎氏。以上

飛躍途上の四倉

上水道敷設計劃

具体案愈々成る

一大漁港完成途上の四倉町ではんだ同町革新的の新企劃は實現可能充分と見られ一般から期待以上發表で悲觀の極にあつた郡下農村も一様に活氣付いて來た

珍らしく閑散な

平署の豚箱風景

蚊群と鬩ふ留置人

何時も超満員の平署署の偽名検査された當時住所不定無職安下箱留置場が珍らしく十七積那永盛村生れ鈴木國義(三二六)日夕刻はガラ空き、三號室に夏がたつた一人だけ……と言ふシャツ一枚になつて押し寄せる閑散振り。

天候快復で 平年作は確實

郡農會第三回豫想發表

十用中の變調天候で大兎作を豫開散振りだネー……と言へば思されてゐた郡下の稲作況は「何時も満員ではやり切れないの後郡農會青山、米山兩技師がや」さてその豚箱の中なんだが全郡下に日精細な調査を續けてゐるが、今十八日調査完了の結果大体平年作確實と第三回の豫想を發表した。

美人の溺死体

四倉海岸に漂着した

十七日午後七時半頃四倉本町海路を通行中後方から暴進して來るに美人の溺死体が漂着して下り貨物列車に氣付かず勿ねるのを同町新町久保水清の助氏飛されて藤原川河原に落下無慘が發見届出たので四倉署からの即死を遂げた。

相本記者赴任

平通信部から郡山通信部に榮轉した東京日日新聞記者相本信一郎氏は二十日午前九時半驛發列車で赴任する。

勿來野球 今日開幕

勿來野球協會創立記念野球大會は今日午前八時半から勿來小學校(第一球場)勿來對川部戦を皮切りに赤津局長の試球式で試合開始、川部小學校(第二球場)植田との對上遠野戦も同時に試合開始したが絶好の野球日和に恵まれて非常な盛會を呈してゐる。

魚釣の老爺

奇禍 慘死

湯本町字入山八仙居住入山炭礦坑夫小口市郎實父秀吉(六一)昨十七日午前八時半頃磐崎村藤原川に魚釣に行く途中常磐線鐵道

四倉、勿來 蘭市場開場

二十六日と決定
秋蘭出廻り期近付いたので勿來
植田、四倉各蘭市場では着々開
場準備を急いでゐるが四倉蘭市
場では二十六日開場と決定、勿
來市場また二十六日から開場取
引を開始する筈で残る植田市場
も此れと前後して開場するもの
と見られてゐる。

郡下收購は 約五千貫

郡下の夏蘭は目下出廻り季に入
り收購約五千貫を豫想されてゐ
るが、相場は依然春蘭安の餘波
を受けて買當り一圓七八十錢位
又秋蘭は過般來の天候不順から
腫物、おでき切らずに治る
ハレモノ、
良 藥 八 方 散
平(電六九九) 水野藥局

約一週間の遅延を見今月下旬出
廻るが、これ亦同値を豫想され
てゐる。尚柔葉は春蠶來の掃立
制限から各農村共著しく過剩を
來し今後晩秋蠶に當ても尙過剩
を豫想されてゐるため殆ど値に
ならず肥料に使つてゐる處も少
くない。

自動車に 轢かれて死亡

十七日午後五時頃四倉驛前常磐
タクシーの自動車を緒方與平(三
四)が運轉し四倉町田戸地内
を進行中同町佐藤寅次郎二女キ
ヨ子(四ツ)を轢き倒したので木
村病院で緊急手当を施したが間
もなく絶命した。

新特約 三菱ノ自轉車

マツシ號特徴

- 第一、堅牢輕快
- 第二、價格低廉
- 第三、盜難保險
- 第四、運搬車代用
- 第五、婦人兼用
- 第六、附屬品全部マークス
- 第七、

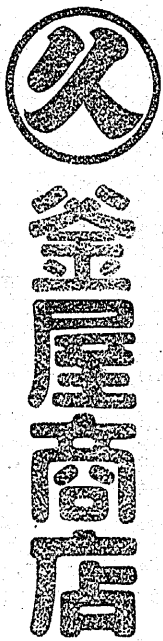
代理店 **モリスマ自轉車店**
電話 六六四番

新發明 透明障子紙

福島、茨城 四縣下一手販賣
宮城、栃木

發賣元 **阿部商店**
電話 四五番

和洋銅鐵金物問屋



諸橋 久太郎
電話 九九番

花外柳病科 專門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話 三〇九番

吸入用酸素 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

器具

体温器
寒暖計

●寫真機
●秤ノ取締・錘系・修覆致シマス
●材料一式

關内藥局

電話 四〇番

胃腸病 性病

内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科

專門

院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

療 間

流行ノ下駄ト草履ハ
ドコヨリ安イ
南町 三井ハキモノ店

「小僧サン入用」
平町古鍛冶町九一
神谷齒科醫院
神谷辰夫

故金子木南氏 十三回追悼會通知

福島民友新聞平支局長として往年石城政變の際故渡邊寅
次郎氏と憲政會(民政黨前身)のため孤軍奮闘した金子信
三(木南)氏大正十一年舊七月十四日物故して本年十三回
忌に相當するので來る舊七月十四日(二十三日)午前十時
から平町長橋町性源寺に於て同氏の追悼會を催はす事に
なりましたから多數御參列を願ひます。尚ほ當日は故金
子氏の實姉高橋みよのさんも列席致します。

主催 **石城民政部會**
福島民友新聞平支局

日本廣告を以て通知に代えま

淨國院新盆に相當候處甚た
勝手がましく候へども提灯
その他供物等一切御辭退申
上候間御諒承願上候

平町鍛冶町
施主 **國府田直良**

耳鼻咽喉科 專門

病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町(電六九九)
山内醫院
醫學士 山内亨吉

高久病院

平町田町(電話五二三番)
醫學士 高久忠
新瀨醫學士 赤羽清雄
藥劑士 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科